

[特集]

土木遺産Ⅲ

悠久の時を超えて

中国の漢代の書『淮南子』に
「聖人乃作為之築土構木」という一節があり、
これが「土木」の名の由来だという。
土を築き、木を構える。
実に自然な成り立ちではないか。

古代から、多様な自然環境の下で、
人はその土地に馴染むものをつくってきた。
それらは人々の生活に根付き、
悠久の時を超えて今もなお活躍し続ける。